

株式会社コドモン

コドモンカレッジ オンラインセミナー

<研修テーマ>

質問で学ぶ防犯対策

～不審者から子どもを守るには～

開催:2022年10月27日(木) 13時～14時

講師:株式会社リスク・マネージャー

代表取締役 西久保博信

研修テーマ:不審者から子どもを守る防犯対策とは ～防犯訓練を見直そう～

研修内容:質問で学ぶ防犯対策～不審者から子どもを守るには～

- 1)110や119へ緊急連絡をする際の具体的な流れを教えてください
- 2)不審者が園内に侵入した場合の対処法を教えてください
- 3)不審者が侵入してきた際、子どもと一緒にどのように逃げたらよいか一連の流れを教えてください
- 4)散歩など園外で不審者に遭遇した際にまずすべき事は何ですか。
また事前に準備しておくべき物がありますか。
- 5)すぐにできる不審者対策としてしておくべきものは何ですか
- 6)不審者対策として、子どもとできる訓練を教えてください
- 7)地域との関わりを持つことで、不審者対策にどのようなメリットがありますか。

質問で学ぶ防犯対策

1. 子どもの防犯対策に必要なポイント

前提として「施設に侵入してくる人は普通の人間ではない（義理人情通じない）」と認識する、最悪の事態を考えるという2つの要素を踏まえたうえで、防犯対策に関する話し合いを行っていく必要があります。

2. 不審者が園内に侵入した場合の対処法

こちらも前提として、子どもに判断力を期待してはいけません。「早く逃げなさい!」という指示だけでは、子どもはどこに逃げたらいいのかわからないので必ず保育者が先導するようにしましょう。

3. 不審者が侵入してきた際に、子どもと一緒にどのように逃げたら良いか避難方法や流れ

子どもに危害が加えられないようにまず保育園で壁をつくります。そのあとはロープに捕まらせてともかく安全な方向に進んで外に出しましょう。

4. 散歩など園外で不審者に遭遇した際に、まずすべきこと

「いかのおすし」を改めて徹底教育すると同時に、常に注意喚起することが大切です。また、遊んでいるグループからはみ出している子どもに目を向け、子どもに接近してくる大人に注意することも大切です

5. すぐにできる不審者対策法や準備しておいた方がよいもの

第一発見者は気が動転しているので、直接出来事を伝えるのは難しいものです。ですので、防犯ブザーを作動させるなど保育者全員が事態を確認できるような手段をもっておきましょう。

6. 不審者対策として、子どもと一緒にできる訓練

音声だけではなく視覚（ジェスチャー）で訴えることが大切です。事前にジェスチャーを作っておくとよいでしょう。

7. 地域とのかかわり方と、そのメリット

施設の中で緊急事態が発生した際は、近所の家に行き戸を叩いて助けを求めることが大切です。ですので、地域にも関心をもってもらえるような防犯を考えていきましょう。

・研修では上記1～7の質問により詳しくご解説いただき、さらには110番・119番通報のポイントや使える道具なども教えていただきました。

Q&A 保育者から質問への回答

【不審者への対応について】

Q-園内に見知らぬ人(不審者と疑われる人)が侵入してきた際、保育者から声をかけても良いのでしょうか。

また、声をかける際に注意する点があれば教えていただきたいです。

A-施設警備業務の二大重点は「出入管理」と「巡回」です。委託を受けた警備会社がやっても、社員がやっても敷地権・管理権に基づく業務行為となります。

「出入管理」とは人の出入り、物品の出入り、来訪者の受付案内を含め当該事務所の管理規定に基づき実施されます。

従ってこのチェックを経ずに、また声かけを無視しての入場は「不法侵入」となります。

不法侵入者は放置することなく、非常ベル、防犯ブザーなどの鳴動で複数対応の原則に基づき110番通報を含め緊急対処します。

不法侵入者には怯む事なく対処してください。

【保育者間での連携方法について】

Q-不審者が侵入してきた際、まずは保育者全員に伝わるように非常ベルや、防犯ブザーを鳴らすとの事でしたが、それらが園に設置されていない場合備えておけるものはありますか

A-非常ベルは、ベルの設置個数、発信機(押しボタン・ペンダント型を含む)などの個数にもよりますが、配線で繋いだシステムで防犯ベルの単独システムはそんなに費用はかかりません。近くの電気工事屋さんでも対処できます。但し、警備会社に依頼すると、機械管理システムに防犯ベルの鳴動が組み込まれたシステムとなると月額警備料金に反映され高額となります。

防犯ブザーは、高額ではありませんのでご準備をおすすめします。

防犯ブザーが、個体の防犯器具でありかなりの音量でなり続けます。小学生がランドセルにぶら下げているものと同じものでピンを差し込んで鳴動を止めます。

防犯ベルやブザーが鳴ったらどういう対応行動をとるか？という行動のプロセスを徹底することがポイントです。